

# 林野庁長官特別講演

山形県立農林大学校の創立記念日の特別講義として、今井敏林野庁長官をお招きして特別講演学生との意見交換を開催し、学生や関係機関の職員など百五十人が出席しました。

今井長官は、平成2年度から三年間、農林水産省から山形県に出向して農政課長を務め、本県の農業の発展や本校の緑風館（研修所）の建設にご尽力されました。

特別講演では、『林業振興と地域活性化について』林業の未来を担う皆さんへ』と題して、木材需要の創出や製品・技術の開発などの最新事例を紹介するとともに、林業・木材産業



林野庁長官の特別講義

の現状や国産材の安定供給に向けた課題などについて、農業系学科の学生にも理解しやすいように丁寧に講演されました。

意見交換では「未来の山形の農林業を担う私たちの挑戦」をテーマに、林業・稲作・果樹・野菜・花き・畜産・農産加工の各学科代表の学生が将来の抱負を述べました。その後の質疑応答では、学生達が授業で学んできた中で見つけた課題や疑問について長官から実体験を基にした実践的なアドバイスをいただくことができ、非常に良い経験ができました。



「林業経営学科」学生との記念撮影

# 平成28年度研修生を紹介します

## 新規就農支援研修・農業ビジネス支援研修

新規就農支援研修は、県の試験研究機関等で基礎技術を習得する基礎コース（17名）と、優れた農業経営者のもとで実践的な農業を学ぶ実践コース（19名）、昨年度に続いて2年目の研修を行うマスターコース（2名）に分かれ1年間の研修を行い、ほとんどの研修生が県内で就農を予定しています。

農業ビジネス支援研修は、新品目や新技術の導入、直売等の新たな事業展開を学ぶ新分野導入コース（2名）と、農産加工の開始に必要な基礎技術・知識を学ぶ農産加工基礎コース（10名）に分かれ1年間の研修を行い、既に新たな加工品販売を開始している研修生もいます。



2つの研修の受講生

## アグリウーマン塾

アグリウーマン塾は、農業経営に積極的に携わり、経営発展を目指す若い女性農業者の育成・支援を目的に、今年度初めて開催した研修です。6月から1月までの全5回の全体研修と、農業経営の個別相談、希望制のインターンシップ研修等を通して、先進事例や自身の経営分析の手法、課題解決の考え方を学び、経営発展のためのビジネスプランを作成しました。最終回では、受講生が各自のビジネスプランを発表し、今後の事業展開への意欲を示していました。第一期生として18名が本研修を修了し、今後の各自の経営、さらには各地域での活躍が期待されます。本校では、これらの研修を通して本県の元気な農業を支える担い手の育成を図っております。



アグリウーマン塾修了生